

第1日 6月6日(土)

午前の部(10:00—11:35) (研究発表30分 質疑応答15分)

研究発表

① 逸見祐太(東京大学大学院) (10:00—10:45)

元老院における裁判と顕彰から見る、  
ユリウス=クラウディウス朝の政治

② 加藤哲平(日本学術振興会振特別研究員PD) (10:55—11:40)

オベロスとアステリコス：  
教父たちによるアレクサンドリア文献学の受容

※ JASCA 編集委員会(文学部本館2階中会議室)

ポスターセッション(B号館2階ホールにて12時30分頃より行ないます)

南部正裕 『メノン』89d以降の徳の教育不可能性に関する議論の意味

午後の部(13:20—16:55)

③ 河田真由子(富士通研究所研究員) (13:20—14:05)

アリストテレス倫理学における責任

シンポジウム

オリンピア——古典古代のからだところ (14:15—17:30)

※懇親会(18:00— ) 於 関西学院会館  
(会費6000円 学部・大学院生3000円)

(付記 委員会は6月5日午後5時より、文学部新館3階大会議室にて行います)

第2日 6月7日(日)

午前の部(9:30—11:35)

研究発表

- ④ 小川 潤(東京大学大学院) (9:30—10:15)  
ローマ属州統治におけるパグス・ウィクスとパトロネジ：  
ガリア・ナルボネンシス属州を事例として

※総会(10:20—10:45)

- ⑤ 安田 将(北海道大学大学院) (10:50—11:35)  
キケロの哲学的国家論——『国家について』における国制論の論理

※書評委員会：文学部新館1階大学院教室

哲：1、 史：2、 文：3

午後の部(13:10—16:45)

- ⑥ 杉本陽奈子(日本学術振興会振特別研究員PD) (13:10—13:55)  
前4世紀アテナイにおける穀物輸送関連法の運用実態
- ⑦ 大谷 哲(東海大学講師) (14:00—14:45)  
熊から狼へ——ローマ建国伝説における双子の養育者伝承の変遷——
- ⑧ 川本悠紀子(名古屋大学准教授) (14:50—15:35)  
前一世紀末から後一世紀における古代ローマの庭園の興隆
- ⑨ 伊藤 正(鹿児島大学名誉教授) (15:40—16:25)  
アラビアの伝承における『ゲオーポニカ』  
——アナトリオスの『農書』との連関について

閉会の辞

※編集委員会(16:45—) 於 文学部新館3階大会議室